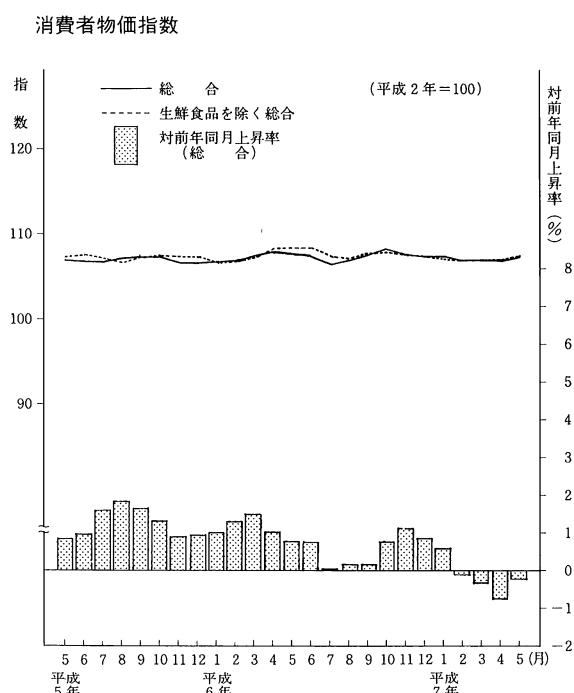
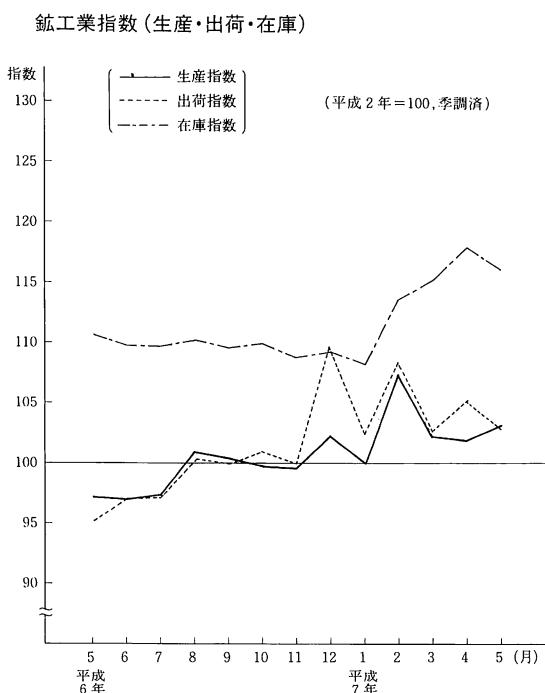
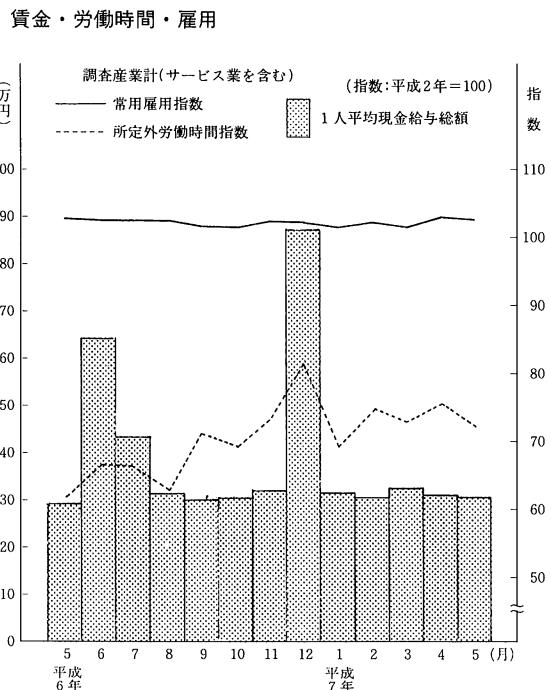
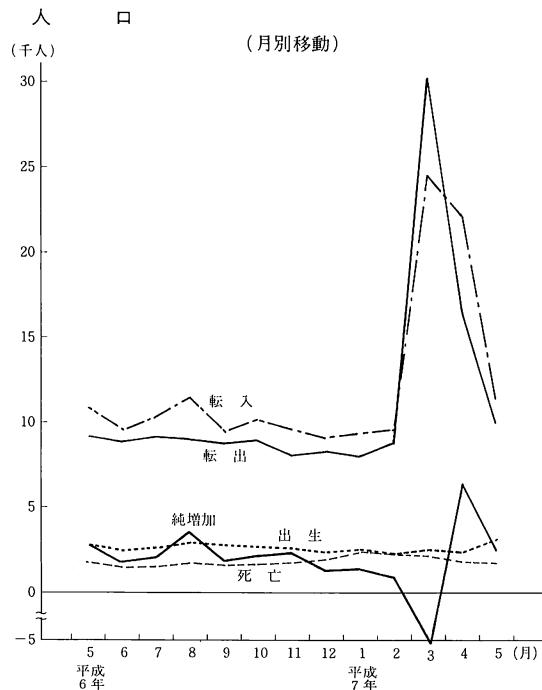


●今月の主な動き

今月の主な動き



今月の主な動き●

主な動きのあらまし企画部統計課

■人口(6月1日)

本県の人口は、5月中に2,366人増加し、6月1日現在で、2,960,074人(男1,480,014人、女1,480,060人)となった。

内訳は、自然動態で827人(出生2,569人、死亡1,742人)増加し、社会動態で1,539人(転入11,472人、転出9,933人)増加した。前年同月と比べると19,988人(0.7%)の増加で

ある。

市町村別では、増加が14市40町村、減少が5市25町村、増減なしが2町村である。

世帯数についても5月中に、2,152世帯増加し925,105世帯となった。

■賃金・労働時間・雇用(5月)

1. 平均賃金の推移

5月の現金給与総額は、調査産業計で306,711円、対前年同月比3.7%増、このうち、きまって支給する給与は299,621円、対前年同月比3.7%増であった。また、このうち、所定内給与は273,143円、対前年同月比2.7%増であり、超過労働給与は26,478円、対前年同月比14.7%増であった。

なお、物価上昇分を差し引いた実質賃金は、対前年同月比5.1%増であった。

*この地方調査の結果は事業所規模30人以上です。なお、事業所規模5人以上の結果についての問合せにも応じます。

■鉱工業指数<生産・出荷・在庫>(5月)

本県における平成7年5月の“鉱工業指数”(平成2年=100)は、季節調整済指数で、生産が103.0、出荷が102.8、在庫が116.2で、前月比は、生産が1.3%の上昇、出荷が2.0%の低下、在庫が1.6%の低下であった。

前年同月比(原指数)は、生産が5.8%の上昇、出荷が8.0%の上昇、在庫が5.0%の上昇であった。

業種別に前月比をみると、生産では、鉱業、化学機械工業、石油・石炭製品工業等が上昇し、鉄鋼、精密機械工業、一般機械工業等が低下した。出荷では、石油・石炭製品工

2. 労働時間

5月の総実労働時間は、調査産業計で150.9時間、対前年同月比0.7%増であった。このうち、所定内労働時間は136.9時間、対前年同月比0.8%減、所定外労働時間は、14.0時間、対前年同月比17.8%増であった。

3. 雇用の動き

5月の雇用の動きを常用雇用指数によってみると、対前年同月比1.1%減であった。

業、化学工業、食料品・たばこ工業等が上昇し、一般機械工業、精密機械工業、鉱業等が低下した。在庫では、電気機械工業、鉱業、輸送機械工業等が上昇し、石油・石炭製品工業、鉄鋼業、食料品・たばこ工業等が低下した。

特殊分類別にみると、生産でその他用生産財、非耐久消費財等が上昇し、耐久消費財、資本財が低下した。出荷では、非耐久消費財、建設財等が上昇し、資本財、耐久消費財が低下した。在庫では、耐久消費財、その他用生産財が上昇し、非耐久消費財、鉱工業用生産財等が低下した。

■消費者物価指数(5月)

平成7年5月の茨城県消費者物価指数(県平均)は、総合で107.3(平成2年=100)となり、前月比0.3%の上昇、前年同月比0.3%の下落となった。

今月の上がった主な項目……調理食品6.4%，衣料4.0%，シャツ・下着2.8%，果物2.4%

今月の下がった主な項目……油脂・調味料1.6%，他の家具・家事用品1.6%，医薬品1.0%

生鮮食品を除く総合は107.6となり、前月比0.3%の上昇、前年同月比0.6%の下落であった。

費目別指標 (平成2年=100)

区分	指數	上昇率(%)		区分	指數	上昇率(%)	
		対前月	対前年同月			対前月	対前年同月
総合	107.3	0.3	△0.3	保健医療	102.3	△0.3	△0.7
食料	105.6	0.5	△0.7	交通通信	99.3	△0.3	△0.2
住居	116.4	△0.3	1.3	教育	116.8	0.0	2.5
光熱・水道	102.5	0.0	△0.2	教養娯楽	108.9	0.6	△0.3
家具・家事用品	96.0	△1.2	△4.2	諸雑費	105.0	0.3	0.5
被服及び履物	114.1	2.7	△2.1	生鮮食品を除く総合	107.6	0.3	△0.6